



思い出のクラゲ 空に舞う 三縄小でソーラーバルーン飛行

3月31日、三縄小出身の中学生たちが、在校時に製作したものの天候の影響で飛ばすことができなかったソーラーバルーンを飛ばしました。

ビニールで作られたクラゲの形をしたバルーンは、授業の一環で製作されたもので、一緒に作った荒岡先生と松本先生がこの春に異動されるため、思い出づくりとして実施したそうです。

中学生たちは、太陽の熱でふわっと浮き上がり運動場の中を不規則に移動するソーラーバルーンを、小学生に戻ったように走って追いかけていました。



ボッチャで親睦を深める 市身体障害者会ボッチャ交流大会

三好市身体障害者会が、主催するボッチャ交流大会が、3月10日に池田総合体育館で開催されました。

交流大会には三好市身体障害者会の会員24名が市内各地から参加し、熱戦を繰り広げました。

ボッチャとはパラリンピックの正式種目で、年齢や性別、障がいのあるなしにかかわらず競い合うことができる近年特に注目されている競技です。

当日はボッチャを通じて会員同士の交流もでき、笑顔が絶えない大会となりました。



林道開設の功績を記す 国見山線の顕彰碑を建立

池田町川崎から国見山の西側を抜け、西祖谷山村尾井ノ内に至る森林基幹道川崎国見山線は昭和62年度に着工し、現在も工事が進められています。

このほど国見山線の実現に向け尽力された広域林道川崎国見山線期成同盟会の活動に対し敬意と感謝を示す顕彰碑が、林道の起点となる池田町川崎に建立され、3月12日に関係者19人が集まり除幕式を開催しました。

参加者は、林道の実現に尽力された先人たちに感謝するとともに、林道の全線開通を願いました。



日常の中にある一瞬の絶景を切り取る 第8回千年のかくれんぼフォトコンテスト表彰式



プリント部門最優秀賞の酒井利恵さん

第8回目の千年のかくれんぼフォトコンテストでは、従来の賞に加え特別賞を設け、プリント部門では「ジオ」、インスタグラム部門では「グルメ」と「ポートレート」をテーマとして募集しました。プリント部門には392点、インスタグラム部門には1456点の作品応募があり、厳正な審査の結果、プリント部門の最優秀賞には、馬場展望台から望む池田の町並みと吉野川にかかる雲海の中を色鮮やかに捉えた徳島県在住の酒井利恵さんの作品「躍動する息吹き」が選ばれました。インスタグラム部門の最優秀賞には、落葉が積もる石段を登るお坊さん、苔むした石垣など1枚の中に「和」を詰込んだ愛媛県在住のakira_1972_さんの作品「朱に染まる山寺」が選ばれました。2点の最優秀賞の他にも、プリント部門では24点、インスタグラム部門では12点の優れた作品が入賞しました。

普段目にする風景の中に、今まで見ていたものとは違う風景があることに気づかされる作品が多くあり、三好市の新たな魅力が広く共感されて、また新しい感動の発見につながればと思います。



「躍動する息吹き」 酒井利恵



「朱に染まる山寺」 akira_1972_

三好市第6期障害福祉計画、三好市第2期障害児福祉計画、 三好市高齢者保健福祉計画（第9次）が策定されました

3月24日、三好市障害者基本計画および障害福祉計画策定委員会より「三好市第6期障害福祉計画および第2期障害児福祉計画」の答申書が、三好市高齢者保健福祉計画策定委員会より「三好市高齢者保健福祉計画（第9次）」の答申書が、それぞれ黒川市長に提出されました。

市では、これらの答申を踏まえて

新たな福祉計画を策定いたしました。障害者基本計画および障害児福祉計画では「地域における障害者の自立と社会参加」を、高齢者保健福祉計画では「高齢者を敬い、高齢者が住み慣れた地域で安全・安心に暮らせる三好市の実現」を基本理念として、様々な施策を効果的、積極的に推進してまいります。



コロナ対策への寄付に表彰状 （株）明和クリーン（有）ヤマト重機

3月31日、三好市役所にて多額のご寄附をいただいた有限会社ヤマト重機および株式会社明和クリーン代表取締役楠本隆文様に、黒川市長より表彰状と記念品が贈呈されました。

昨年9月28日、新型コロナウイルス感染症対策に活用していただきたくして両社から多額のご寄附をいただき、三好市秘境の宝物応援事業に活用させていただきました。

地域貢献への深いご理解に対し深く感謝するとともに敬意を表します。誠にありがとうございました。

三好市第6期障害福祉計画 三好市第2期障害児福祉計画



藤原早月 委員長

三好市高齢者保健福祉計画（第9次）



松林廣義 委員長

お問い合わせ先：三好市長寿・障害福祉課（☎ 72-7610 ☎ 72-7612）



美しい秘境としてお迎えするために 大歩危祖谷いってみる会の呼びかけで清掃活動

コロナ禍で多大な影響を受けている大歩危祖谷の観光関係者などが、感染終息の願いと日頃の感謝の気持ちを込めて、JR大歩危駅やかずら橋周辺の清掃活動を行いました。

清掃は大歩危祖谷いってみる会の呼びかけで昨年から実施しているもので、3月10日にはJR大歩危駅周辺を、3月24日には約50人が参加し、祖谷のかずら橋周辺のゴミを拾ったり、ガードレールなどの汚れを落としたりと清掃活動に汗を流しました。

参加者らは清掃活動の中で、景観保全とおもてなしの意識を新たにしました。